

高信頼性ICタグ

バーコードかRFIDか

スーパーマーケット、コンビニ、キオスクで大量に使われているバーコードも今や空気のように当たり前になっています。ところが、このバーコードもすべての分野でとはいかないものです。

バーコードかRFIDか古くて新しい課題です。スイカのような電子乗車券にバーコードをという人はいないと思います。またプラントのように50年から100年寿命の複雑な装置にバーコードという人もいないと思います。

短期間で、そう高くないものにはバーコードはうってつけですが、長期に悪環境で使われ、改竄されないような高価値の装置にはRFIDでしょうか。

物流商品にRFIDをつけるのは輻輳制御などにより複数読み取りが信頼性よく行われ、RFIDの貼り付けコスト問題が解決できたときです。

宇佐美アイデアのアンテナ内蔵のRFIDチップをインクジェットプリンタで貼り付ける時代がきたとき、その機能が改めて見直されていくと思います。当面、高信頼度ICタグ「プラントガード」と「光り玉」にご注目下さいませ。